

# ほんがいっぱい



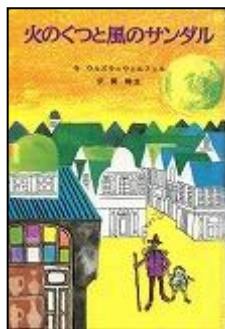
## よんでみよう!

### 3・4年生のための本

#### ①『火のくつと風のサンダル』

ウルズラ・ウェルフェル／作 関楠生／訳 久米圭一／絵 とうわかんしゅっぱん 童話館出版《Fベ》

ちびでふとちよのチムは、いつもみんなにわらわれています。落ちこむチムをみたお父さんは、お誕生日にとくべつなおくりものをくれました。それはくつ屋のお父さんが作った赤いくつと、二人ででかける夏休みの大りょこうの計画でした。



#### ②『名犬ボニーはマルチーズ 1 ボニーがうちにやってきた』

ベル・ムーニー／作 宮坂宏美／訳 スギヤマカナヨ／絵 徳間書店《Fム》

引っこしたばかりで友だちもいないハリーは、大きくて強い犬をかいたくてたまりません。ある日、お母さんがとつぜん犬をつれてきました。それはネズミくらい小さなマルチーズでした。ハリーは、がっかり。「こんなの、犬じゃないよ!」とさげびました。



#### ③『さかさ町』

F.エマーソン・アンドリュース／作 ルイス・スロボドキン／絵 小宮由／訳 岩波書店《Fア》

リッキーとアンは汽車でおじいちゃんの家にかかっていた。ところが、橋がこわれて汽車が前に進めなくなりました。うしろに進んだ汽車がついたところは「さかさ町」。ここでは、家も車もみんなさかさま。5階行きのエレベーターは、なんと下にさがっていくよ!



#### ④『スプーンは知っている』

新藤悦子／作 平澤朋子／絵 講談社《Fシ》

カフェのマスター豆吉さんは、おくさんが亡くなってから、元気がありません。かなめちゃんは、豆吉さんに笑ってほしくて、どうしたらいいか、お人形のタمامさんにききました。かなめちゃんとタمامさんはお話ができるのです。するとタمامさんは…。



#### ⑤『アンナのうちはいつもにぎやか』

アティヌーケ／作 ローレン・トビア／絵 永瀬比奈／訳 徳間書店《Fア》

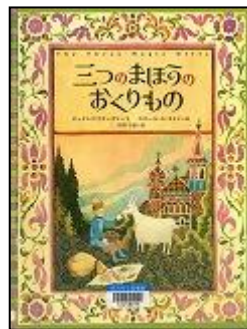
アンナは大ぜいのかぞくとアフリカでくらしています。ある日、アンナはおとうさんとおかあさん、弟のムチャとクチャだけで海辺の家にかけました。ところがちいさな弟たちはおおあばれ。そこでおとうさんは、おばさんたちをよんできて…。



## ⑥ 『三つのまほうのおくりもの』

ジェイムズ・リオードン／文 エロール・ル・カイン／絵 中川千尋／訳 ほるぷ出版《M》

むかし、びんぼうな弟が兄さんから、おわんに一ぱいの小麦粉をわけてもらった。ところが、けちな兄さんはそれを百ばいにして返せという。しかたなくもらって帰る途中、つよい風が小麦粉をふきとばしてしまった。おこった弟は風をおいかけていき…。



## ⑦ 『ジンベエザメのはこびかた』

松橋利光／写真 高岡昌江／文 宮野耕治／絵 ほるぷ出版《48》

ジンベエザメは世界で一番大きい魚だよ。そんな大きな魚がどうやって水族館にきたんだろう？ どうやってはこんだんだろう？ なぞがなぞをよぶジンベエザメのはこびかた。いっしょに見てみよう！



## ⑧ 『オオサンショウウオ』

福田幸広／しゃしん ゆうきえつこ／ぶん そうえん社《48》

ぼくは、オオサンショウウオ。ふだんは、川のふちや石のすきまでじっとしている。夏至のころ、ぼくは1年に1度の大事な仕事をするために、長い旅へと歩きだす。目指す場所をつよいオスだけが持てる“すあな”だ。ここでぼくはメスを待つんだ。



## ⑨ 『ぼくは王さま』

寺村輝夫／作 和田誠／絵 理論社《A Fテ》

王さまは、ふんわりあまいたまごやきがだいすき。ある時、王子さまが生まれたおいわいに、国じゅうの人にたまごやきをごちそうするといいだした。たまごがたりないけど、王さまは「ぞうのたまごがあればかんたんさ」といって…。



## ⑩ 『大千世界のなかまたち』

スズキコージ／さく 福音館書店《Fス》

本が棚からぬけなかったり、ぬくときにキュッという妙な音をきいたことない？ それは本のすきまに住むスキママンのしわざだよ。

## ⑪ 『じごくのそうべえ』

田島征彦／作 童心社《Eタ》

かるわざしのそうべえが、つなわたりのつなから落ちてあの世行き。ついたところは、なんとじごく！ おにをあいてに大あばれや！

## ⑫ 『おおきくなりすぎたくま』

リンド・ワード／文・画 渡辺茂男／訳 ほるぷ出版《Eワ》

ジョニーは森から小さなこぐまをつれてかえりました。やがてこぐまは大きくなり、家や畑をあらしはじめます。もう家にはおいておけません。そこで…。

## ⑬ 『あかてぬぐいのおくさんと7にんのなかま』

イ ヨンギョン／ぶん・え かみやにじ／やく 福音館書店《Eイ》

あかてぬぐいのおくさんは、はりしごとがとてもしょうず。7つのどうぐがなかよくはたらいてくれるからです。ところが、おくさんがうたたねをしていると…。

## ⑭ 『世界のあいさつ』

長新太／さく 野村雅一／監修 福音館書店《38》

世界にはおもしろいあいさつがいっぱい！ ペロリと舌をだしたり、つばをはくあいさつもあるんだって！

## ⑮ 『はなのあなのはなし』

やぎゆうげんいちろう／さく 福音館書店《49》

“まみむめも” ってはなをつまんと言ってごらん！ なんだか言いにくいね。それにいきも苦しいよ。はなのあなって大事なんだ。